

# しらすぎ通信

理念：「個の尊重」「安心と信頼」を大切に  
質の高いサービス提供を目指します。

第151号

発行日:平成30年7月

発行:指定管理者

公益財団法人横浜市総合保健医療財団

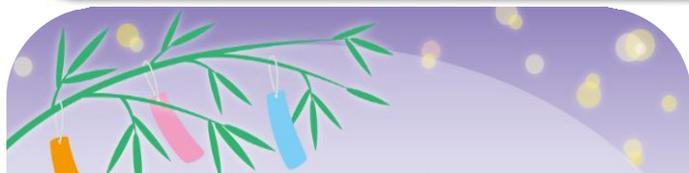
発行責任者:総合相談室長 伊藤未知代

〒222-0035

横浜市港北区鳥山町1735番地

電話 045-475-0103

FAX 045-475-0101



6月中に梅雨も明け、今年は例年になく夏が急ぎ足でやってきました。七夕の夜には天の川を見ることができたでしょうか？夜になっても気温が下がり切らない日が続きます。適度な塩分・水分補給を心掛け、健やかに過ごしてください。

★ 夏祭りは7月28日に開催されます。恒例行事でもあり、皆さまとお会いできることを楽しみにしています。

なお、前号でお知らせしたたこ焼きは、お好み焼きへ変更となります。



## 職員紹介

こんにちは、四月からしらすぎ苑で働かせていただいています、看護師の村瀬直子です。

看護師人生の中で老健で働くのは初めてで、分からない事だらけですが、先輩方の温かいご指導のおかげで日々たくさんの事を学ばせていただいております。

しらすぎ苑では、利用者様と中庭に咲く草木を見て四季を感じたり、みんなで歌を歌っている姿に癒されています。

私生活では、二人の娘の母親で、長女は今年から看護学校に通っており、看護について話すことが増え改めて看護の基礎の大切さを感じています、彼女はクラリネットをやっており私は、演奏会に行くのがたのしみです。

また次女はバトントワリングをやっており大会の応援いくのも楽しみの一つです。

まだまだ覚える事が沢山ありますが、支えてくださる全ての方々に感謝して、利用者様の命を輝かせるお手伝い出来るよう日々努力していきたいと思っております。



## 茶話会

皆さんと一緒に愉しんだ茶話会



特集

郷土食巡りの旅！

しらすぎ苑管理栄養士による



# 栄養管理室だより

vol.2



2006年(平成18年)より、都道府県別に郷土食を楽しむ行事食を1年に4回献立に取り入れています。第1回目は、北海道で『鮭のチャンチャン焼き』をメインに献立を作成し、スタートしました。今年は、6月15日に第55回目として、滋賀県の郷土食を召し上がっていただきました。献立は、福井県若狭で獲れる鯖を滋賀県を通り、京都府に繋がる鯖街道にちなんで、『鯖の竜田揚げ』、『牛肉のしゃぶしゃぶサラダごまだれかけ』、『香りごはん』、日本へ最初の湯葉が比叡山延暦寺へ伝わったことから『湯葉のお吸い物』、季節の果物として『メロン』でした。献立にまつわるエピソードも一緒にお伝えして、その地方への思いを馳せていただいています。

ところで、都道府県は47ありますが、なぜ55回目なのでしょう？  
答えは、魅力ある郷土食がたくさんある都道府県は、2回登場しているからです。次回56回目で徳島県を巡り日本一周を達成します。

これからもおいしい郷土食を巡る旅は続いています。お楽しみに！



今年の梅雨明けは、記録が残る1951年以降、最も早かったそうです。

7月に入り、急に気温が上がり熱中症対策が欠かせません。のどが渇く前から少しずつ水分を摂ることが予防のポイントになります。工夫をしながら暑い夏をのりきりましょう。